

嬭恋村集落支援員(専任)による

嬭恋村移住・集落支援室通信

『嬭恋村移住・集落支援室通信』

創刊号が完成しました！！



創刊号

移住WEB



集落支援員とは？

人口減少や少子高齢化が進行する嬭恋村において、住民自らが地域の現状と課題を把握し、行政や関係団体などと連携した取り組みが進められるよう、地域のアドバイザー、コーディネーター役として、浅間高原別荘地域を中心に活動している専任5名と各行政区の区長が集落支援活動を行っている。

集落支援員(専任)

嬭恋村は平成24年4月から設置し、浅間高原別荘地域を中心に集落支援活動を実施。

<活動内容>

- ・「広報つまごい」を配布しながらの巡回・目配り
- ・行政情報の発信や地域の情報収集、コミュニティ形成を目指した取組
- ・集落や別荘地域のアドバイザーやコーディネーター
- ・移住相談員として嬭恋村への移住定住促進に向けた取組等

●全国設置数 (H29)

- ・専任 1, 195名

●嬭恋村設置数 (H30)

- ・専任 5名

集落支援員(区長兼任)

嬭恋村は平成28年4月から設置し、集落地域(11行政区)において、各行政区長が兼任して集落支援活動を実施。

<活動内容>

- ・集落内点検
- ・集落内の見守り
- ・移住定住促進
- ・空き家対策
- ・自主防災組織の運営活動等

●全国設置数 (H29)

- ・兼任 3, 320名

●嬭恋村設置数 (H30)

- ・兼任 11名

専任支援員 ^{たきざわ} 滝沢 ^{みさお} 操

《自己紹介》

- ・ 嬭恋村大字門貝生まれ
- ・ 平成28年4月より集落支援員として活動開始。

《担当エリア》

- ・ 門貝、サンランド、せせらぎの森、紀州ロイヤル、NRK他 128軒

《活動をしてみて》

・ 移住を主力に活動していますが、「集落支援員はどのような仕事をしているのですか?」「事務所はどこにあるのですか?」と時々、村民の方から質問されることがあります。この通信を通して、知っていただければ幸いです。



【写真】

平成31年2月23日
(土)~24日(日)
移住体験ツアー実施

専任支援員 ^{たかまる} 高丸 ^{かずき} 和己

《自己紹介》

- ・ 平成26年5月より集落支援員として活動開始。

《担当エリア》

- ・ 溶岩樹形周辺、県道235西側

《この通信を通じて》

・ 「移住」と「集落支援」について思い巡らす時間を持っていただき、思い及んだ事を共働で進められますと幸いです。

・ 人口減少問題は、嬭恋村も避けられない事案です。又、2025年には団塊の世代が75才を超えて超高齢化社会になります。

そのような喫緊の課題に対し、ハチドリの一滴ならん程度でも「移住」や「集落支援」につなげる事が出来ると幸いです。



【写真】

移住相談会参加

《自己紹介》

- ・ 埼玉県上尾市から定年の翌年に移住して、7年目になります。
- ・ 平成25年4月より集落支援員として活動開始。

《担当エリア》

- ・ フェンテ浅間、王領地、三井、浅間ハイランドパーク別荘地エリア

《移住をしてみて》

・ この地域で交流のきっかけ作りのため応募した集落支援員・社会福祉協議会のアルバイト、妻の起業支援、趣味のゴルフ、オカリナなど、第2の青山の地として、多忙自適の暮らしを満喫しています。

・ また、あさま高原オープンガーデン推進協議会等の地域交流の活動など、身の丈に合った生き方ができればと思っています。浅間高原の春夏秋冬の季節感が気に入っています。



【写真】

オープンガーデン

専任支援員 ^{まえだ} 前田 ^{たかひろ} 隆裕

専任支援員 ^{すが} 須賀 ^{よしひと} 恵仁

《自己紹介》

- ・東京都出身、平成25年4月に千葉県習志野市より移住。
- ・平成30年4月より集落支援員として活動開始。

《担当エリア》

- ・プリンスランド、旭ビレッジ、寿の郷青山台などの別荘地内 150軒

《移住をしてみても》

・嬬恋村は自然がいっぱいで、軽井沢、草津温泉、万座温泉、菅平高原など日本でも有数のリゾート地まで30分で行ける絶好のロケーションにあります。移住を考えていらっしゃる方々に、この恵まれた環境の中でリゾート暮らしを満喫できることをアピールさせていただいております。



【写真】相談会展ブース

専任支援員 ^{いちば} 一場 ^{まさと} 正人

《自己紹介》

- ・学生時代を含め5年間東京暮らしを経験し、都会での生活には馴染めないことを痛感して嬬恋村にUターン。
- ・定年を機に、平成30年4月より集落支援員として活動開始。

《担当エリア》

- ・日本興業、紀州鉄道、青葉湖周辺、北軽鎌原線沿い等の別荘地 約130軒

《活動をしてみても》

・広報をお届けしながら、情報の提供・収集等に務めて1年が過ぎようとしております。現在、国・県・村が人口減少への政策課題として移住促進対策を講じている中で、四季折々の自然に恵まれた田舎暮らしへの憧れから、嬬恋村では別荘地区への移住希望者も多く、村の優位性を活かした対策により、人口減少に歯止めがかかり、活力ある村づくりにつながっていくことを願っております。



【写真】移住相談会チラシ

浅間高原別荘地域コミュニティ紹介

あさま高原オープンガーデン推進協議会

<https://www.facebook.com/asamagarde>

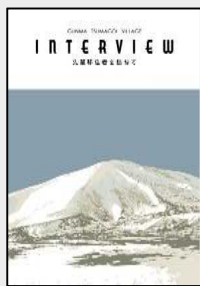


＜設立年月日＞ 平成28年3月1日

＜代表者＞ 篠原 陽子 (携帯) 090-5346-3793
花屋「チップツリーファーム」もやっています。

＜会員数＞ 39人

＜活動内容等＞ あさま高原オープンガーデン推進協議会は、浅間高原及び吾妻郡地域にオープンガーデンを普及させることによって、花や自然が好きな仲間を増やしていくことを目的としています。活動としては、「オープンガーデンガイド小冊子の配布」「提供頂いたガーデンナーのお庭を拝見するツアー(6~7月)・紅葉ツアー(10月)」「花・雑貨のカルチャー教室(1回/月)」「花と雑貨のマルシェ(1回/年)」「イベントへの出展(随時)」「その他新規活動」になります。また、オープンガーデンのお庭を提供して下さる方も随時募集中です。ホームページを開設しました。最新情報やお庭の花の報告など掲示していますので、興味のある方はそちらもご覧ください。



嬭恋村の支援制度を
まとめた移住チラシ

別荘地域での移住者の声を通して、嬭恋村の
魅力を伝えるインタビュー冊子 vol.1・vol2

移住者向けのすぐ住
める物件紹介冊子

移住ウェブサイト
「恋する暮らし
つまごいスタイル」

資料請求無料

詳しくはお問い合わせください。WEBからもダウンロードできます。



嬭恋村 移住・集落 支援室

■ 嬭恋村移住・集落支援室とは？

・平成28年10月、嬭恋村農村環境改善センターに移住希望者へのワンストップ窓口として「移住相談窓口」を設置。平成29年12月に嬭恋村地域交流センターへ移転し、一人ひとりに対応したきめ細やかな相談対応を行っています。また、移住相談以外の内容についてもお気軽にご相談いただけます。

■ 構成員は？

- ・集落支援員(専任)5名
地域おこし協力隊1名 計6名

■ 開館日・開館時間は？

- ・基本、年末年始を除く毎日勤務
- ・8時30分～17時15分



浅間高原別荘地域
での活動を募集し
ます！！

・今後も「嬭恋村移住・集落支援室通信」の発行を予定しております。この通信を通じて、紹介してほしい活動がある方を募集したいと思っておりますので、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

・掲載箇所は「コミュニティ紹介ページ」になります。



編集発行

【嬭恋村移住・集落支援室通信 創刊号】

発行 嬭恋村集落支援員(専任)
嬭恋村役場総合政策課

TEL 0279-96-1257

〒377-1692 群馬県吾妻郡嬭恋村大字大前110

◇お問い合わせ先

嬭恋村移住・集落支援室(嬭恋村地域交流センター内)
群馬県吾妻郡嬭恋村大字鎌原494-45

TEL 0279-82-5191

FAX 0279-82-5033

URL <https://www.tsumagoi-style.com/>

